

# 慶雲寺報

## NEWS

### ★ 11/16 山門施食会

毎年日付で開催日を定めており、本年は月曜日のお勤めとなりました。住職として迎える2回目の施食会、昨年に比べると幾分、どっしりと構えて導師を勤められた気がしております。

まだお参りいただいていないお宅のお塔婆が、堂内に残っております。正月準備までは保管いたしますので、お早めにお参り下さい。不在の場合、ご随意に本堂内へどうぞ

### ★ 平成二十八年年度年表

来年度年忌にあたるご先祖様は左表の通りです。

一周忌	平成二十七年没
三回忌	平成二十六年没
七回忌	平成二十二年没
十三回忌	平成十六年没
十七回忌	平成十二年没
二十三回忌	平成六年没
二十七回忌	平成二年没
三十三回忌	昭和五十九年没

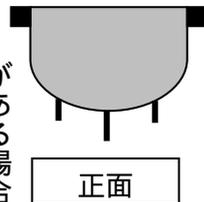
該当するお宅には、年明けに通知を差し上げます。ご先祖様に報恩の思いをお供えしましょう。

### ☆こんな時どうすれば？☆

今回のテーマは

香炉にお線香をお供えする作法です

香炉には向きがある



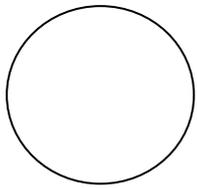
です。

ご家庭の香炉をいま一度点検してみましょう。

お線香の本数は？

願いのこもった諸説があり、家庭での伝承を否定は致しませんが、曹洞宗の場合基本的には真心こもった1本でOKです。

どこに立てる？



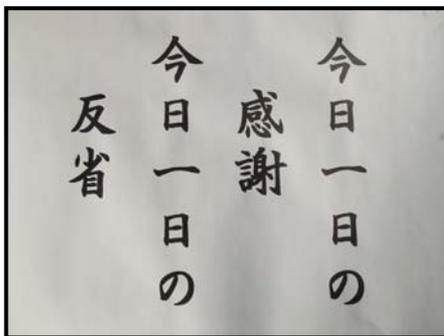
1人でお供えする時は、香炉の中央(印)にまっすぐ立てることを意識してお供えします。

3人位までなら、中央線を意識して奥 中央 手前。それ以上の人数の場合、奥の左 右、それから手前側の左 右となるようイメージし、後からお供えする人の邪魔にならないよう気遣いをするのがよろしいと思います。また、燃えさしてお線香が倒れないようご注意ください。  
**仏さまは香食(こうじき)**  
仏さまはお香を召し上がっているとされます。良い香りをお届けするためにも、お線香の銘柄にも気を払いたいです。人工的な香料ではなくお香本来の香りがする物をお供えしましょう。

### ◎伝道揭示板から

得をした時だけのありがたう!ではなく、目に見えないものへも思いを巡らすことは、謙虚な自分を保つことになり、俺が…俺が…の思いにカンナをかけてくれます。

そして、貪り・怒り・愚痴に振り回されていないか?自らを客観的に見つめ直すこと。仏教でいう懺悔(仏教では濁らず「さんげ」と読みます)も大切な仏行の一つです。



他に思いを巡らし、謙虚な思いで自らを丁寧に顧みることが、私達に 気付き をもたらしてくれます。気づき はより深い

のある生き方へのきつかけとなり、好循環を生む原動力となるはず。

施食会が終わりに、流行語が発表され、TVで歌番組が多くなると、いよいよ押し詰まってきたなあと感じます。1年を振り返って、様々なご恩への感謝/自らの反省を胸に抱き今年の総決算をすると同時に、新年も一日一日を大切に過ごせるよう胸に誓いましょう。

### 新年年賀参りのご案内

年が明けましたら、新年の御礼をお届けいたします。菩提寺への年始参りは、例年同様1/16を予定しております。

来年は土曜日に当たりますので、多くの皆様にお参りいただきたく存じます。

